

仲間みつける！協働パートナー

「こんなことができますリスト」 エントリーシート

【 2019年 3月 日】

団体名	CAPおかやま	代表者	山下 明美
-----	---------	-----	-------

★1 「こんなことができます！」～他の団体等を支援するために私たちはこんなことができますよ。

	対象	内容(提供できることを具体的に)	費用等条件
こんなことができます!	子育て中の親 教員 支援者 等	体罰防止や、しつけのヒントに関する啓発講座等の実施	内容や時間、対象者などによって要相談
	★他の団体等へのメッセージをお書きください。 2019年3月児童虐待防止法などの改正案を閣議決定、衆院に提出されました。幼い子どもの犠牲を防ぐため、「しつけ」を理由とした親の体罰禁止や児童相談所(児相)の体制強化を盛り込まれたものになります。一方、まだ市民の中では啓発がすすんでいないことから「不安になったり、混乱してしまう親」「声掛けをどのようにすべきかを悩む支援者」が増えることが考えられます。体罰をはじめといった暴力から子どもたちを守る社会をつくるため、啓発や整理をしていく必要があります、当団体が持つ経験やノウハウやヒントを使っていだければと思います。		

★2 「こんなできませんか？」～他の団体等から支援してほしいこと。

	対象	内容(協力を求めたいことを具体的に)	費用等条件
こんなできませんか?	子ども(青少年)の見守りに関する活動をしている団体	夕方から夜にかけての子どもたちの見回りや声掛け	
	協働してくれる自治体		
★他の団体等へのメッセージをお書きください。 放課後の青少年から「覚せい剤といった薬物の声掛けを受けた」「未成年の自分に対しての性交渉の声掛けがあった」など危険な声掛けにあったという声があがっています。知らず知らずのうちに子ども達が危険にまき込まれることがないよう、周囲の大人たちが気に掛ける必要があり、1団体だけではなく、複数の専門知識がある団体が手をとりあい、一緒に見守ることができればと考えています。長期に渡る活動なこと、専門性も必要ことから、無償で実施をすることが難しいため、一緒に担ってくれる行政や制度も募集しています。			

★3 「協働したい！」地域課題の解決を図るため、岡山市又は他の団体等と協働で取り組みたい事業

	協働したい相手(行政等)	協働事業の内容	費用等条件
協働提案	行政	民間での子育て拠点やひろばの運営	
	★協働したい相手先へメッセージをお書きください。 既存の地域子育て拠点も意味あるものだと思うものの、「その場に自分ほそぐわない」と感じてしまつ親ほど定着せず、こぼれ落ちてしまつている状態です。 不安を感じている親や子の居場所が柔軟にあるのが望ましい姿だと考えており、その第一歩を担うための話し合いや事業の実施を希望しています。		

団体概要

連絡先 担当者 対応可能時間	〒700-0935	岡山市北区広瀬町2-11			電話	086-221-9988	
	e-mail	cap.okayama@hotmail.co.jp			fax	(086)255-9988	
URL	担当者	山下	曜日	時間	設立年月日	1996年4月 (活動年数 年)	
	https://www.cap-okayama.net/						
活動可能エリア	岡山市内・岡山県内()・全国()・海外() ※ 岡山連携中枢都市圏(津山市・玉野市・総社市・備前市・瀬戸内市・赤磐市 真庭市・和気町・早島町・久米南町・美咲町・吉備中央町)						
団体の 主な事業	子どもへの暴力防止教育・人権教育であるCAPプログラムの実施。 子どもを育み、育てるおとなたちへの「暴力防止」の具体的な知識や予防に向けての選択肢を伝え、共に考えるワークショップに実施。 暴力防止繋がる講演会や上映会等の実施による社会に向けての予防啓発活動。						
協働実績	年	内容				協働相手	
		・(2009年、2010年)岡山県安心子ども基金300万円 ・(2011年)赤い羽根共同募金40万円、備前県民局協働事業200万円 ・高梁市社会福祉課「児童虐待防止ワークショップ」(過去6年間)6万円/年 ・赤磐市保健福祉部「児童虐待防止対策緊急強化事業」(過去6年間)30万円/年 ・岡山県教育庁「こころと命のサポート」事業(2013年度から)26万円/年 ・岡山市教委「子どもを中心に据えた教育を目指して」人権教育研修支援事業(2014～) ・平成27年度岡山市市民協働モデル事業「幼児期の子どもをもつ親への児童虐待の予防・啓発事業」					